３．京都市大原野の杜
障害者支援施設【生活介護事業・施設入所支援・短期入所事業】
特定相談支援事業所

（1） 総括

今年度は入所利用者 48 名でスタートしたが、昨年度から職員の欠員が継続しているため、新規利用者の募集は行わずより良いサービスを提供することを優先することとし、新規採用職員の配属に加え、非常勤職員も新たに複数名雇用し体制を整えた。まず夜勤体制を整え、次に日中の支援体制を整えて毎日の活発な日中活動を目指したが、職員の体調不良や利用者の通院の増加もあり、想定通りには進められなかった。そんな中で、定例の行事や音楽療法やお茶、生花などのサークル活動、小学校との交流学習はもちろん、利用者の好きな事やリハビリの取組、外出などを重点的に個別の支援を進めた。塗り絵や折り紙など利用者の作品は、デイルームの素敵な装飾となっている。

設備としては昨年度の女性棟に引き続き、男性棟の一つの居室に天井走行型の移乗リフトを設置した。また、ベッド型の体重計を導入することで毎月の体重測定に費やす時間が短縮され、職員の業務軽減に繋がった。その他、花壇を駐車スペースとして整備し職員用の駐車スペースを拡大した。また施設から一般道路へ出る際の安全対策としてカーブミラーを設置した。

施設入所支援は、利用者の欠員のほか入院される場合もあり、稼働率は 93％に留まった。また、日中支援生活介護については、法人内の他事業所や他法人の事業所へ通所されている利用者が数名いらっしゃるため稼働率は 88％と低かった。短期入所事業については、土日の女性の利用を控えていただいているにもかかわらず、稼働率が 74％と目標値を上回った。

その他、今年度は第三者評価を受けた。3 月末現在正式な結果報告は届いていないが、Ｂ評価となった項目もあった。毎年実施している京都府の組織活性化プログラムのアンケート及び職員のストレスチェックの結果についても、第三者評価でＢ評価となった項目と改善ポイントが同じような内容であるため、次年度は第三者評価のＢ評価項目を中心に改善をすることで、施設全体が活性化されより良い職場環境になると考える。

（2）職員体制（令和 7 年度末現在）

施設長(管理者)1 名、副施設長(サービス管理責任者)1 名、事務職員 2 名、支援職員 39 名（常勤換算数 30.1 名）、看護師 3 名（常勤換算 2.2 名）、管理栄養士 1 名、相談支援専門員 2 名(兼務)、洗濯業務(非常勤)3 名、嘱託医師 2 名(内科 1 名、精神科 1 名)

＊給食調理は業務委託

（３）利用者の状況

①在籍人数・利用実績

１）施設入所支援：定員 50 名・現員 47 名，年間利用率 93.7％（R6 年度：96.0％）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	在籍者	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	－
	利用日数	772	788	775	796	800	768	803	774	768	803	688	800	9335
女性	在籍者	23	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21	－
	利用日数	677	661	643	675	673	651	670	638	648	620	581	640	7777
合計	在籍者	49	48	48	48	48	48	48	48	48	47	47	47	－
	利用日数	1449	1449	1418	1471	1473	1419	1473	1412	1416	1423	1269	1440	17112
	利用率%	96.6	93.4	94.5	94.9	95.0	94.6	95.0	94.1	91.3	91.8	90.6	92.9	93.7

２）生活介護：定員 50 名・現員 47 名，年間利用率 88.8％（R6 年度：92.1％）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	在籍者	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	－
	利用日数	533	557	532	555	566	537	563	543	544	559	469	550	6508
女性	在籍者	23	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21	－
	利用日数	456	475	453	475	478	455	479	434	469	454	395	451	5474
合計	在籍者	49	48	48	48	48	48	48	48	48	47	47	47	－
	利用日数	989	1032	985	1030	1044	992	1042	977	1013	1013	864	1001	11982
	利用率%	89.9	89.7	89.5	89.6	90.8	90.2	90.6	88.8	88.1	88.1	82.3	87.0	88.8

②年齢・男女別人数：男性最高齢 77 歳・女性最高齢 81 歳

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	合計	平均年齢
男性	0	0	9	8	5	4	0	26	57.0
女性	0	0	5	6	4	5	1	21	59.9
合計	0	0	14	14	9	9	1	47	58.3

③ 障害支援区分別人数

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均区分
男性	0	0	0	0	6	20	26	5.8
女性	0	0	0	0	3	18	21	5.9
合計	0	0	0	0	9	38	47	5.8

重度加算対象者　男性 16 名、女性 16 名

④ 利用者の動向

新規入所　なし
退　　所　女性２名（死亡のため）
入　　院　・令和６年度３月より入院中の利用者、４月入院先にて死去

・4 月～5 月男性利用者 1 名排尿障害のため入院
・7 月、9 月、12 月、2 月男性利用者 1 名誤嚥性肺炎のため入院
・2 月～3 月男性利用者てんかん薬の調整のため入院
・3 月女性利用者 1 名歯科治療のため入院
・4 月、5 月、9 月女性利用者 1 名透析用シャント更新手術のため入院
・同利用者、食欲不振、倦怠感等全身症状にて 10 月～12 月及び 12 月に入院、その後入院先にて死去

3）短期入所事業利用実績：定員５名，稼働率 74.4%（R6 年度：66.1%）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	利用人数	19	14	17	18	13	17	17	18	16	15	19	17	200
性	利用日数	73	50	66	66	53	58	65	66	61	59	70	68	755
女	利用人数	15	14	17	13	12	13	12	14	12	8	11	13	154
性	利用日数	60	54	59	50	49	52	52	54	46	35	44	47	602
合	利用人数	34	28	34	31	25	30	29	32	28	23	30	30	354
	利用日数	133	104	125	116	102	110	117	120	107	94	114	115	1357
計	稼働率%	88.7	67.1	83.3	74.8	65.8	73.3	75.5	80.0	69.0	60.6	81.4	74.2	74.4

4）日中一時支援事業利用実績 延べ 13 名　（R6 年度：延べ 16 名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	利用人数	1	0	0	2	1	1	2	1	2	1	0	1	12
性	利用日数	2	0	0	4	1	1	5	2	5	2	0	3	25
女	利用人数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
性	利用日数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
合	利用人数	1	0	0	2	1	1	2	2	2	1	0	1	13
計	利用日数	2	0	0	4	1	1	5	4	5	2	0	3	27

（4）重点方針及び事業内容　取組結果

①　重点方針

ア　毎日の暮らしのなかで利用者の思いを適切に把握し、利用者自身が豊かな生活を送ることができるよう支援する。

毎日の日課として流れていきがちな生活の様々な場面で、利用者様の意思を確認することを意識して支援した。例えば、利用者様の身の回りの品物を購入するときは、利用者様と一緒にカタログやパソコンで画像を確認しながら相談し、意思確認を行ったうえで購入するようにした。

外出についても、利用者や職員から提案があった際は受け入れている。外食や買い物、植物園や梅小路公園など、利用者の希望に沿って外出を計画することで、目的を持って楽しむことができた。意思の表出が難しい方もおられるため、その方の

意思をどのように汲み取るかなど、まだ課題は多いと感じている。

イ　利用者の身体や認知機能の低下を防ぎ、今ある機能を維持するために活動のひとつとして機能訓練を取り入れる。

十分な職員体制が取れず施設の外での散歩の機会は少なかったが、施設のベランダを中心に、歩行する機会を増やした。日中活動用の表を作成し、活動した利用者の名前に〇印を付けるようにすることで職員の意識も高まり、ベランダ歩行をする機会は以前よりかなり増えた。その他、PT 診察にてアドバイスいただいて個別に機能訓練メニューを作成し、平行棒歩行や車いす自走訓練、筋力トレーニングなどの取組も定期的に実施した。ご利用者自身も楽しみながら訓練に参加されている。

ウ　外出など施設の外へ出かける活動に取組、社会との関わりを築くよう支援する。

年度当初は余暇外出ができるように日課を工夫し、夏前まではドライブなどの外出を定期的に実施していた。夏ごろからは職員の休暇取得の関係で支援体制が稀薄となり外出することが難しくなった。当初想定していたようにグループで外出することはできなかったが、イ欄で記述したように個別外出は積極的に実施することができた。

利用者によっては、外部の理髪店を定期的に利用したり自治体主催のマラソン大会に出場したりされ、職員が同行した。

エ　地域社協や近隣の学校や施設との連携を深め、地域貢献に努める。

今年度も近隣の２つの小学校とケナフの栽培を通して交流学習を実施した。種まきから刈り取り、ハガキ作りまで、児童や民生委員の方々と協力しながら年間を通して活動することができた。利用者は一緒に作業を手伝ったり、児童や民生委員の方からの問いかけに答える形でコミュニケーションを取ったりして有意義な時間を過ごされた。

また、施設では 12 月４日には今年度より義務化された「地域連携推進会議」を開催した。利用者代表や利用者家族代表、近隣の方や第三者委員、行政からは担当区のケースワーカーの参加があった。参加者からは施設のことを知ることができて有意義なことだとの意見をいただいた。会議録を HP に公開している。

オ　第三者評価を受検する。

１月 23 日に第三者評価を受けた。概ねＡ評価だったが若干Ｂ評価もあった。最終的な審査結果はまだ公開されていないが、Ｂ評価となった項目は、事業計画など情報のすべての職員への周知、定められた評価基準による年１回の自己評価の実施、地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動の実施、障害のある本人の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援の実施の４項目であった。これらＢ評価となった項目を中心に改善を図りより良い施設、より良い支援を目指したい。

② 事業内容

ア 施設入所支援

大原野の杜の利用者様は重度の知的障害という特性から、言葉遣いや表情、しぐさなどが幼く見えることがあるが、個人の年齢を意識するとともに年齢をかさねることで身体的な機能や体力などが少しずつ低下しておられることを意識して支援を行った。特に障害が重度の方や年齢の高い方については、ベッドで横になっていただくことや食事に時間をかけすぎない、長風呂しないなど、ご本人の負担にならないよう対応をしてきた。

また、栄養ケアマネジメントにより、栄養士と支援職員、看護師が連携を図り健康に過ごしていただけるよう支援した。利用者の体重の増減に留意し、必要に応じて食事量の調整や栄養補助食品を活用して経過観察を継続している。

イ 生活介護

今年度はビーズ製品の充実を図り、ブレスレットやレジンで加工したマグネットなどの作品を中心に作成した。これらは桂坂オータムフェスタ、北山ふれあいセンターまつり、フェスタ大原野の販売会を中心に販売を行い、好評であった。販売会には利用者も参加され、自分たちの作った製品が売れていく様子を確認されている。紙漉き製品としては、カレンダーを作成し販売した。

その他、午後の余暇時間を利用して、利用者個々の楽しみを持ってもらうために、塗り絵やパズルなどを用意し日中活動の一環として取り組んだ。多くの方が積極的に塗り絵等に取り組まれ、熱心に色を塗られていた。完成した塗り絵はデイルームの装飾として活用した。その他、漢字の練習や算数ドリルなどに熱心に取り組まれる利用者やボール投げや輪投げなど身体を動かすことを楽しまれるなど、それぞれ楽しまれていた。

ウ 短期入所事業

事業所の相談員やケースワーカー、ご家族等の相談に対し、施設見学やショートステイの受け入れを積極的に行った。利用者のサービス担当者会議にも参加するなど関係機関との連携や情報共有に努め、ニーズに応じて新規利用者の受入れを実施した。昨年度から引き続き、週末の支援体制が希薄になることから、女性の利用は平日のみに縮小して実施したが、利用者数は前年度より延べ人数で 100 人程度増加した。稼働率は 74.4%、1 日平均 3.7 人が利用された。

また、京都市より受託している「あんしん生活緊急サポート事業(障害者緊急短期入所事業)」の緊急利用枠を年間 13 週担当し、利用者数延べ 6 人、29 泊の利用があった。延べ人数 6 人の内 4 人は、虐待関連ケース（家族からの暴力及び家族への暴力）であった。

エ 特定相談支援事業所

3 年ごとの入所利用者のサービス等利用計画を作成した。相談支援員の複数体制

を取ってはいたが、実務を分担することができなかった。

オ　虐待防止の取組

セルフチェックを年に２回実施し、自らの支援や行動の振り返りを行った。また、その結果について虐待防止委員会で協議し「適切な支援」について学習した。強度行動障害について理解を深めるため、全職員を対象に動画を用いて研修を実施した。

（５）情報

①　施設からの情報発信

9 月と 3 月に大原野の杜通信を発行した。文字よりも写真を多く用いて見るだけでも内容が伝わるように工夫した。

②　苦情や要望の把握

ご家族や後見人との面会や帰宅の送迎の際に、利用者の最近の様子を伝えたり、家庭での様子やご家族の要望等を聴いたりして支援に活かしてきた。年に 1 回年度末には、満足度調査と地域移行の確認アンケートを実施し、利用者や家族の意向を確認した。また年度末には家族懇談会を実施し、個別支援計画の説明や確認、意見聴取等を実施し、次年度の計画書に反映させている。

第三者委員の方には、施設の夏祭りに参加していただいて利用者の様子や利用者と職員との関わり等を見ていただいた。また地域連携推進会議にも第三者委員の方に参加していただき、施設見学や情報交換等を行っている。

③　リスクへの対応

月に 1 回リスクマネジメント委員会を開催。アクシデント、インシデントについて振り返り、改善策を検討した。外部からの勝手な侵入を防止するため玄関風除室自動扉の解錠ボタンの設置場所の検討や利用者のケガを予防するための電子レンジの設置場所の検討など行った。また会議で検討した内容は職員への周知を行った。

（６）育成

①　実習やボランティアの受け入れ

今年度は、社会福祉士実習指導者の資格取得者が在籍していなかったため、実習の受け入れはできなかった。また社会福祉士実習指導者の養成研修の受講にも至らなかった。

保育実習として、京都保育福祉専門学院から 1 名、大阪保育福祉専門学校から 1 名計 2 名の保育実習を受け入れた。いずれも 10 日間という短い期間ではあったが、障害者支援施設で生活されている利用者に対しての理解の深まりや関わり方などの

学びに繋がったと思われる。実習生２名のうち１名については、次年度より大原野の杜の非常勤職員として勤務することが決まった。

②　職員育成

二ヶ月に一度のペースで内部研修を実施した。新入職員向けの支援技術研修や公用車の運転や利用者の乗降についての研修、支援計画の作成、人権研修、施設運営に関わるお金（給付費）についての研修、年度末には新入職員の支援技術フォローアップ研修を実施した。特に、給付費についての研修は職員の希望により実施し、好評を得たので年間のレギュラー研修にしたいと考えている。また新入職員向け支援技術研修に対するフォローアップの研修を実施することで、一年を通しての振り返りや各職員の現状確認ができた。

（７）地域との交流・連携

①　大原野社会福祉協議会に参画し、地域のイベントである「フェスタ大原野」に参加した。販売員として利用者も参加され、紙漉き製品やビーズ製品等の販売を行った。

地域住民との交流を楽しまれていた。また、社協主催の「暮らしの講演会」の会場として施設の会議室を貸出し、記念品として自主製品を持ち帰っていただいた。講演会後には 10 名ほどの方が見学を希望され「長年外観しか知らなかったけど中を知ることができて良い機会となった」との感想をいただいた。

②　ケナフ栽培をとおして近隣の大原野小学校及び上里小学校と交流した。大原野小学校との交流学習は大原野地区民生児童協議会と協力して実施した。上里小学校から、次年度は児童の参加人数を増やしたいとの要望があり、こちらも民生児童協議会の協力を得て実施する予定である。

（８）施設整備

①　介護機器の導入

ア　2F 男性居室の１室に天井走行型の移乗リフトを設置した。

イ　ベッド型体重計を購入した。

ウ　特殊シャワー浴槽アラエル専用のリクライニング式キャリーを購入した。

②　施設設備の改修及び修繕

ア　庭を乗用車５台分の駐車スペースに改修した。

イ　玄関自動ドアをテンキー式に改修し、内扉の解錠ボタンの設置場所を変更した。

ウ　１F 事務室の空調を改修した。

エ　電子カルテ導入に伴い医務室の整備を実施した。
・診察用ベッドを診療用ストレッチャーに買換え、新たに吊戸棚を設置した。
・電子カルテ用パソコン及びプリンターを設置した（本格的運用はR8年度から）。
オ　職員用更衣室にエアコンを設置した。
カ　厨房冷凍庫の買い替えを実施した。
キ　福祉避難所の設備として、ポータブル電源を購入した。
ク　交通安全対策として一般道路に面した外壁にカーブミラーを設置した。
ケ　京都市に要望して８月に飲料の自動販売機を設置していただいたが、設置業者の事情により３月に撤去された。引き続き、設置していただくよう要望している。

2025年度　大原野の杜　利用者満足度調査　　結果

1. 両親	2. 兄弟	3. 親族	4. 後見人	5. その他	合計	回収率
17	7	1	7	0	32	68%

以下の各項目について、あなたの気持ちに最も近いところに〇をつけてください 「わからない」「該当しない」場合は、無回答で結構です

■支援サービスの提供について	はい	どちらかと言えばはい	どちらかと言えばいいえ	いいえ	無回答
1. 支援プログラムや支援計画は、利用者やご家族のご希望に添っていますか	20	4	1	0	7
2. 日中活動や余暇支援について、ご希望に添っていますか	17	7	1	0	7
3. 個別な活動や外出等の機会は適切に提供されていますか	17	6	2	0	7
4. 個別支援計画や生活の様子について、十分な説明や情報提供がありますか	20	6	1	0	5
5. 医療面（検診・通院・服薬・他医療的ケア等）や緊急時の対応などは適切に行われていますか	26	4	0	0	2
6. 給食・食事は、健康や食事の楽しみに配慮し、適切に提供されていますか。	19	8	0	0	5

■職員のマナーや仕事のしかたについて	はい	どちらかと言えばはい	どちらかと言えばいいえ	いいえ	無回答
7. 職員の言葉使いや態度で、嫌な思いをされたことはありますか	0	0	2	27	3
8. 職員の服装やみだしなみで、嫌な思いをされたことはありますか	0	0	1	27	4
9. 職員は、利用者ご本人やご家族の考え方やしてほしいことを大切にしていますか	17	6	3	2	4
10. 職員は指図するような言いかたをしていますか	0	0	3	26	3
11. 職員は、利用者ご本人やご家族の話を親身になって聞いていますか（気持ちを汲み取ろうとしていますか）	21	4	0	3	4
12. 職員は依頼されたことを「時間がなくてできない」と言うことがありますか	0	2	5	21	4
13. 職員は、訪問時や電話対応等で、長時間お待たせすることは、ありますか	0	0	2	27	3

■建物や設備について	はい	どちらかと言えばはい	どちらかと言えばいいえ	いいえ	無回答
14. 居室は、掃除や整理が行き届いていますか	20	4	0	0	8
15. 食堂やデイルーム、トイレなど共有部分の掃除が行き届いていますか	17	7	0	0	8
16. 施設内の冷暖房・明るさ・臭い・音は、快適ですか	20	5	0	0	7

■事務関係について	はい	どちらかと言えばはい	どちらかと言えばいいえ	いいえ	無回答
17. 金銭管理は適切に行われていますか	27	1	0	0	4
18. 施設からの書類（送付書類）は、わかりやすいですか	26	1	0	0	5

■苦情や要望について	はい	どちらかと言えばはい	どちらかと言えばいいえ	いいえ	無回答
19. 施設に自分の意見や要望を言いやすいですか	24	4	0	0	4
20. 施設は苦情や要望に対して誠実に対応していますか	24	2	1	0	5

■施設や職員の全般的な満足度	はい	どちらかと言えばはい	どちらかと言えばいいえ	いいえ	無回答
21. 施設全体について、満足していますか	23	3	0	0	6
22. 職員の仕事全体について、満足していますか	23	4	0	0	5

回答欄に対しての具体的な内容や、その他ご意見・ご要望などがありましたらご自由にお書きください

ご意見
いつも大変細やかな配慮をいただき、家族一同大いに感謝致しております。
昨年のスライドショーがレベルが上がっていてすごくよかった。お忙しい中でありがとうございます。今年も楽しみにしています。
健康管理や楽しく食事などをしていることなど、いろいろ家では出来ないことを支援していただいて大変感謝しています。（利用者名）にとって今が青春だと思っています。ありがとうございます。
カラオケ、ゲームセンターへ多忙と思いますが連れて行って欲しい。たまに外食で楽しんでドライブして欲しい。暖かくなったらウォーキングも外の空気に。無理と思いますがいつでも実現して欲しいと思います。
コロナ禍以降面会場所が限られていてご本人の日常生活の様子は伝わりにくいと感じています。職員体制の都合もあり、外出の機会もへっている様にも思います。大変な環境の中、職員の皆様にはよくしていただいていると感謝しています。面会時に事務職の方に明るく迎えていただいてありがとうございます。
一緒に生活していないため、わかる範囲で回答しました。
いつもお世話になっております。服装について外出の時、（病院、歯科センターへ行く等）自分では身ごしらえは難しいところもあり身だしなみも含めて（普段からも）気にかけていただけるとありがたいです。よろしくお願いします。着古したもの、かんでダメになっていたり等みてやってほしいです。

第一号第四様式

京都市大原野の杜区分　資金収支計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)
事業活動収入	障害福祉サービス等事業収入	[328,250,000]	[328,369,468]	[△ 119,468]
	自立支援給付費収入	(285,810,000)	(282,869,356)	(3,940,644)
	介護給付費収入	285,270,000	282,135,737	3,134,263
	計画相談支援給付費収入	540,000	433,619	106,381
	利用者負担金収入	100,000	111,600	△ 11,600
	補足給付費収入	(2,870,000)	(2,898,145)	(△ 28,145)
	特定障害者特別給付費収入	2,870,000	2,898,145	△ 28,145
	特定費用収入	(28,550,000)	(28,933,240)	(△ 383,240)
	特定費用収入（課税）	2,060,000	2,042,330	17,670
	特定費用収入（非課税）	26,490,000	26,890,910	△ 400,910
	その他の事業収入	(9,920,000)	(13,557,127)	(△ 3,637,127)
	補助金事業収入（公費）不課税	9,390,000	12,889,047	△ 3,499,047
	受託事業収入（公費）課税	340,000	468,600	△ 128,600
	受託事業収入（公費）非課税	0	83,790	△ 83,790
	受託事業収入（公費）不課税	120,000	0	120,000
	受託事業収入（一般）課税	0	250	△ 250
	受託事業収入（一般）非課税	0	18,350	△ 18,350
	その他の事業収入（課税）	30,000	69,290	△ 39,290
	その他の事業収入（不課税）	40,000	27,800	12,200
	経常経費寄附金収入	[210,000]	[510,000]	[△ 300,000]
	その他の収入	[1,800,000]	[1,898,526]	[△ 98,526]
	受入研修費収入	20,000	25,000	△ 5,000
	利用者等外給食費収入	1,420,000	1,415,490	4,510
	雑収入	(360,000)	(458,036)	(△ 98,036)
	雑収入（課税）	360,000	343,662	16,338
	雑収入（不課税）	0	114,374	△ 114,374
	事業活動収入計(1)	330,260,000	330,777,994	△ 517,994
事業活動支出	人件費支出	[204,860,000]	[197,206,989]	[7,653,011]
	職員給料支出	(102,690,000)	(97,865,604)	(4,824,396)
	職員給料支出（課税）	2,800,000	2,679,777	120,223
	職員給料支出（不課税）	99,890,000	95,185,827	4,704,173
	職員賞与支出	33,960,000	34,169,860	△ 209,860
	非常勤職員給与支出	(36,260,000)	(34,454,546)	(1,805,454)
	非常勤職員給与（課税）	1,090,000	747,950	342,050
	非常勤職員給与（不課税）	35,170,000	33,706,596	1,463,404
	派遣職員費支出	4,020,000	4,388,760	△ 368,760
	退職給付支出	3,170,000	3,081,293	88,707
	法定福利費支出	24,760,000	23,674,226	1,085,774
	事業費支出	[64,710,000]	[56,072,914]	[8,637,086]
	給食費支出	24,000,000	24,104,905	△ 104,905
	保健衛生費支出	2,110,000	1,360,284	749,716
	教養娯楽費支出	1,050,000	526,544	523,456

第一号第四様式

京都市大原野の杜区分　資金収支計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)
事業活動による収支	水道光熱費支出	(24,460,000)	(20,052,546)	(4,407,454)
	電気料	9,080,000	8,128,743	951,257
	ガス料	6,650,000	5,699,998	950,002
	上下水道料	8,730,000	6,223,805	2,506,195
	燃料費支出	20,000	8,921	11,079
	消耗器具備品費支出	7,740,000	5,591,723	2,148,277
	保険料支出	450,000	425,330	24,670
	賃借料支出	3,430,000	3,021,723	408,277
	教育指導費支出	900,000	600,282	299,718
	車輌費支出	(360,000)	(270,996)	(89,004)
	燃料油脂費	310,000	214,346	95,654
	その他の車両費	50,000	56,650	△ 6,650
	雑支出	(190,000)	(109,660)	(80,340)
	雑支出（課税）	30,000	39,660	△ 9,660
	雑支出（不課税）	160,000	70,000	90,000
	事務費支出	[44,640,000]	[40,525,919]	[4,114,081]
	福利厚生費支出	(1,870,000)	(1,079,825)	(790,175)
	福利厚生費（課税）	1,430,000	794,073	635,927
	福利厚生費（不課税）	440,000	285,752	154,248
	職員被服費支出	20,000	4,535	15,465
	旅費交通費支出	680,000	537,965	142,035
	研修研究費支出	960,000	834,493	125,507
	事務消耗品費支出	1,390,000	1,222,038	167,962
	印刷製本費支出	430,000	207,026	222,974
	修繕費支出	5,460,000	3,908,272	1,551,728
	通信運搬費支出	880,000	699,950	180,050
	会議費支出	30,000	9,086	20,914
	広報費支出	250,000	0	230,000
	業務委託費支出	26,730,000	26,425,316	304,684
	手数料支出	420,000	394,095	25,905
	土地・建物賃借料支出	(690,000)	(680,000)	(10,000)
	土地・建物賃借料支出（課税）	660,000	660,000	0
	土地・建物賃借料支出（非課税）	30,000	20,000	10,000
	租税公課支出	520,000	385,400	134,600
	保守料支出	4,770,000	4,687,175	82,825
	諸会費支出	(150,000)	(142,500)	(7,500)
	諸会費支出（非課税）	20,000	12,000	8,000
	諸会費支出（不課税）	130,000	130,500	△ 500
	雑支出	(120,000)	(18,243)	(101,757)
	雑支出（課税）	20,000	18,243	1,757
	雑支出（不課税）	100,000	0	100,000
	支払利息支出	[10,000]	[16,402]	[△ 6,402]

第一号第四様式

京都市大原野の杜区分　資金収支計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
	その他の支出	[680,000]	[789,450]	[△ 109,450]
	利用者等外給食費支出	680,000	789,450	△ 109,450
	事業活動支出計(2)	314,900,000	294,611,674	20,288,326
事業活動資金収支差額(3)-(1)-(2)		15,360,000	36,166,320	△ 20,806,320
施設整備等による収支 収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
施設整備等による収支 支出	固定資産取得支出	[13,100,000]	[12,687,490]	[412,510]
	建物取得支出	0	1,125,850	△ 1,125,850
	構築物取得支出	6,710,000	6,710,000	0
	器具及び備品取得支出	6,390,000	4,851,640	1,538,360
	ファイナンス・リース債務の返済支出	[210,000]	[206,436]	[3,574]
	施設整備等支出計(5)	13,310,000	12,893,916	416,084
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 13,310,000	△ 12,893,916	△ 416,084
その他の活動による収支 収入	積立資産取崩収入	[16,900,000]	[16,900,000]	[0]
	修繕積立資産取崩収入	10,900,000	10,900,000	0
	備品等購入積立資産取崩収入	6,000,000	6,000,000	0
	拠点区分間繰入金収入	[28,380,000]	[25,935,000]	[2,445,000]
	その他の活動収入計(7)	45,280,000	42,835,000	2,445,000
その他の活動による収支 支出	積立資産支出	[0]	[19,000,000]	[△ 19,000,000]
	人件費積立資産支出	0	10,000,000	△ 10,000,000
	修繕積立資産支出	0	7,000,000	△ 7,000,000
	備品等購入積立資産支出	0	2,000,000	△ 2,000,000
	拠点区分間繰入金支出	[46,330,000]	[46,789,217]	[△ 459,217]
	その他の活動支出計(8)	46,330,000	65,789,217	△ 19,459,217
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 1,050,000	△ 22,954,217	21,904,217
予備費支出(10)		1,000,000	――――――	1,000,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	318,187	△ 318,187

前期末支払資金残高(12)	179,863,469	179,863,469	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	179,863,469	180,181,656	△ 318,187

第二号第四様式

京都市大原野の杜区分　事業活動計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
サービス活動増減 収益	障害福祉サービス等事業収益	[328,369,468]	[336,621,367]	[△ 8,251,899]
	自立支援給付費収益	(282,869,356)	(294,945,218)	(△ 12,075,862)
	介護給付費収益	282,435,737	294,834,175	△ 12,398,438
	計画相談支援給付費収益	433,619	111,043	322,576
	利用者負担金収益	111,600	319,154	△ 207,554
	補足給付費収益	(2,698,145)	(3,487,780)	(△ 589,635)
	特定障害者特別給付費収益	2,898,145	3,487,780	△ 589,635
	特定費用収益	(28,933,240)	(28,938,186)	(△ 5,946)
	特定費用収益（課税）	2,042,330	1,910,538	131,792
	特定費用収益（非課税）	25,890,910	27,028,648	△ 137,738
	その他の事業収益	(13,557,127)	(8,930,029)	(4,627,098)
	補助金事業収益（公費）不課税	12,889,047	7,795,759	5,093,288
	受託事業収益（公費）課税	468,600	817,300	△ 348,700
	受託事業収益（公費）非課税	83,730	0	83,730
	受託事業収益（公費）不課税	0	145,800	△ 145,800
	受託事業収益（一般）課税	250	250	0
	受託事業収益（一般）非課税	18,350	31,670	△ 13,320
	その他の事業収益（課税）	69,290	122,570	△ 53,280
	その他の事業収益（不課税）	27,800	16,680	11,120
	経常経費寄附金収益	[534,440]	[510,000]	[24,440]
	サービス活動収益計(1)	328,903,908	337,131,367	△ 8,227,459
サービス活動増減	人件費	[196,505,989]	[197,862,572]	[△ 1,356,583]
	職員給料	(97,866,604)	(104,973,338)	(△ 7,106,734)
	職員給料（課税）	2,679,777	3,004,737	△ 324,960
	職員給料（不課税）	95,186,827	101,968,601	△ 6,782,774
	職員賞与	21,637,860	20,756,979	880,881
	賞与引当金繰入	11,403,700	11,904,400	△ 500,700
	非常勤職員給与	(34,454,546)	(30,950,130)	(3,504,416)
	非常勤職員給与（課税）	747,950	703,945	44,005
	非常勤職員給与（不課税）	33,706,596	30,246,185	3,460,411
	派遣職員費	4,388,760	2,194,358	2,194,402
	退職給付費用	3,081,293	3,095,099	△ 13,806
	法定福利費	23,674,226	23,988,268	△ 314,042
	事業費	[56,096,254]	[54,020,712]	[2,075,542]
	給食費	24,103,805	21,636,636	2,467,169
	保健衛生費	1,360,284	1,290,668	69,616
	教養娯楽費	550,984	344,716	206,268
	水道光熱費	(20,052,546)	(20,285,893)	(△ 233,347)
	電気料	8,128,743	8,198,660	△ 69,917
	ガス料	5,699,998	8,429,882	△ 2,729,884
	上下水道料	6,223,805	3,657,351	2,566,454
	燃料費	8,921	24,663	△ 15,742

第二号第四様式

京都市大原野の杜区分　事業活動計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
減の部		消耗器具備品費	5,591,723	6,441,311	△ 849,588
		保険料	425,330	368,010	57,320
		賃借料	3,021,723	2,626,465	395,258
		教育指導費	600,282	682,956	△ 82,674
		車輌費	(270,996)	(292,554)	(△ 21,558)
		燃料油脂費	214,346	292,554	△ 78,208
		その他の車両費	56,650	0	56,650
	費	雑費	(109,680)	(26,840)	(82,820)
	用	給費（課税）	39,680	26,840	12,820
		給費（不課税）	70,000	0	70,000
	事務費		[40,533,248]	[39,634,472]	[898,776]
		福利厚生費	(1,079,823)	(1,172,422)	(△ 92,597)
		福利厚生費（課税）	794,073	844,616	△ 50,543
		福利厚生費（不課税）	285,752	327,806	△ 42,054
		職員被服費	4,535	0	4,535
		旅費交通費	537,365	529,089	8,276
		研修研究費	134,493	76,181	58,312
		事務消耗品費	1,222,038	875,094	346,944
		印刷製本費	207,026	241,461	△ 34,435
		修繕費	3,908,272	3,215,955	692,317
		通信運搬費	699,950	549,584	150,366
		会議費	9,086	12,267	△ 3,181
		広報費	0	189,541	△ 189,541
		業務委託費	26,415,316	26,858,709	△ 443,393
		手数料	401,424	118,449	282,975
		土地・建物賃借料	(680,000)	(680,000)	(0)
		土地・建物賃借料（課税）	660,000	660,000	0
		土地・建物賃借料（非課税）	20,000	20,000	0
		租税公課	385,400	200,600	184,800
		保守料	4,687,175	4,730,192	△ 43,017
		諸会費	(142,500)	(128,850)	(13,650)
		諸会費（非課税）	12,000	12,000	0
		諸会費（不課税）	130,500	116,850	13,650
		雑費	(18,243)	(56,078)	(△ 37,835)
		雑費（課税）	18,243	56,078	△ 37,835
	減価償却費		[6,830,154]	[6,490,923]	[339,241]
	国庫補助金等特別積立金取崩額		[△ 321,925]	[△ 258,049]	[△ 63,876]
	サービス活動費用計(2)		299,643,730	297,750,630	1,893,100
サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)			29,260,178	39,380,737	△ 10,120,559
	その他のサービス活動外収益		[1,904,755]	[1,522,974]	[381,781]
サ		受入研修費収益	25,000	58,000	△ 33,000
ー	収	利用者等外給食収益	1,415,490	1,118,650	296,840

第二号第四様式

京都市大原野の杜区分　事業活動計算書

（自）2025年 4月 1日（至）2026年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会　　（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
サービス活動増減の部	収益	雑収益	(454,265)	(348,324)	(117,941)
		雑収益（課税）	343,662	345,784	△ 2,122
		雑収益（不課税）	120,603	540	120,063
		サービス活動外収益計(4)	1,904,755	1,522,974	381,781
	費用	支払利息	[16,402]	[16,719]	[△ 317]
		その他のサービス活動外費用	[789,450]	[635,440]	[154,010]
		利用者等外給食費	789,450	635,440	154,010
		サービス活動外費用計(5)	805,852	652,159	152,693
	サービス活動外増減差額(6)－(4)－(5)		1,098,903	870,815	228,088
経常増減差額(7)=(3)－(5)			30,359,081	40,251,552	△ 9,892,471
特別増減の部	収益	拠点区分間繰入金収益	[25,935,000]	[26,290,000]	[△ 355,000]
		特別収益計(8)	25,935,000	26,290,000	△ 355,000
	費用	固定資産売却損・処分損	[274,624]	[3]	[274,621]
		建物売却損・処分損	189,384	0	189,384
		器具及び備品売却損・処分損	79,189	3	79,186
		その他の固定資産売却損・処分損	6,051	0	6,051
		国庫補助取崩額（除却等）	[△ 1]	[△ 1]	[0]
		国庫補助金等特別積立金積立額	[550,000]	[184,000]	[366,000]
		拠点区分間繰入金費用	[46,789,217]	[44,650,000]	[2,139,217]
		特別費用計(9)	47,613,840	44,834,002	2,779,838
	特別増減差額(10)=(8)－(9)		△ 21,678,840	△ 18,544,002	△ 3,134,838
当期活動増減差額(11)－(7)+(10)			8,680,241	21,707,550	△ 13,027,309
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額(12)		201,054,613	197,877,063	3,177,550
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)－(12)		209,734,854	219,584,613	△ 9,849,759
	基本金取崩額(14)		[0]	[0]	[0]
	その他の積立金取崩額(15)		[16,800,000]	[11,470,000]	[5,330,000]
	人件費積立金取崩額		0	3,120,000	△ 3,120,000
	修繕積立金取崩額		10,900,000	0	10,900,000
	備品等購入積立金取崩額		5,900,000	8,350,000	△ 2,450,000
	その他の積立金積立額(16)		[19,000,000]	[30,000,000]	[△ 11,000,000]
	人件費積立金積立額		10,000,000	7,000,000	3,000,000
	修繕積立金積立額		7,000,000	9,000,000	△ 2,000,000
	備品等購入積立金積立額		2,000,000	14,000,000	△ 12,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)－(13)+(14)－(15)－(16)		207,534,854	201,054,613	6,480,241

京都市大原野の杜区分　貸借対照表

2026年 3月31日現在

社会福祉法人京都総合福祉協会

（単位：円）

資産の部

勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	201,964,995	200,601,894	1,363,101
現金預金	24,656,952	13,225,311	11,431,641
事業未収金	46,955,012	51,775,538	△ 4,820,526
未収金	114,300	0	114,300
未収補助金	3,764,788	4,493,103	△ 728,315
立替金	653,819	523,166	130,653
前払金	56,000	56,000	0
拠点区分間貸付金	122,763,377	130,541,786	△ 7,778,409
固定資産	149,807,179	142,124,477	7,682,702
その他の固定資産	149,807,179	142,124,477	7,682,702
建物	12,488,011	12,798,630	△ 310,619
構築物	6,993,771	875,152	6,118,619
機械及び装置	4,793,431	5,221,529	△ 428,098
車輌運搬具	5	5	0
什具及び備品	15,220,139	14,764,963	455,176
有形リース資産	113,724	153,861	△ 40,137
権利	149,760	149,760	0
ソフトウェア	0	6,050	△ 6,050
無形リース資産	401,856	668,168	△ 266,312
退職給付引当資産	366,509	366,509	0
長期資産	108,370,000	106,170,000	2,200,000
人件費	45,380,000	35,380,000	10,000,000
修繕	34,630,000	38,530,000	△ 3,900,000
備品等購入	28,360,000	32,260,000	△ 3,900,000
差入保証金	1,000,000	1,000,000	0
長期前払費用	59,960	59,960	0
資産の部合計	351,772,174	342,726,371	9,045,803

負債の部

勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動負債	33,810,781	33,476,867	333,914
事業未払金	20,179,981	19,143,643	1,036,338
その他の未払金	250,974	477,272	△ 226,298
1年以内返済予定リース債務	236,442	236,442	0
未払費用	1,080,000	1,120,000	△ 40,000
預り金	510	510	0
職員預り金	269,372	0	269,372
賞与引当金	11,891,000	12,632,000	△ 741,000
固定負債	665,680	872,086	△ 206,406
リース債務	309,151	515,577	△ 206,426
退職給付引当金	356,529	356,509	0
負債の部合計	34,476,461	34,348,953	127,508

純資産の部

勘定科目	当年度末	前年度末	増減
国庫補助金等特別積立金	1,380,879	1,152,805	228,074
国庫補助金等特別積立金	1,380,879	1,152,805	228,074
その他の積立金	108,270,000	106,170,000	2,100,000
その他の積立金	108,270,000	106,170,000	2,100,000
人件費	45,380,000	35,380,000	10,000,000
修繕	34,630,000	38,530,000	△ 3,900,000
備品等購入	28,360,000	32,260,000	△ 3,900,000
次期繰越活動増減差額	207,644,834	201,054,613	6,590,221
（うち当期活動増減差額）	8,538,541	21,707,550	△ 13,027,309
純資産の部合計	317,295,713	308,377,418	8,918,295
負債及び純資産の部合計	351,772,174	342,726,371	9,045,803

別紙2

計算書類に対する注記（京都市大原野の杜）

1．重要な会計方針
(1)固定資産の減価償却の方法
◇有形固定資産　：　定額法による減価償却を実施する。
・平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については残存価額を取得価額の10%として償却を行い、耐用年数到来後も使用する場合には備忘価額(1円）まで償却する。
・平成19年4月1日以降に取得したものについては、減価償却累計額が当該資産の取得価額から備忘価額（1円）を控除した金額に達するまで償却する。

◇無形固定資産　：　定額法による減価償却を実施する。
・残存価額は0円とし、償却累計額が当該資産の取得価額に達するまで償却する。

◇リース資産
・ファイナンス・リース取引　：　所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産　リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。ただし、重要性が乏しいものについては賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(2)引当金の計上基準
◇賞与引当金
・職員に対する賞与の支給に備えるため、当該支給予定額のうち当年度に帰属する期間に相当する金額を賞与引当金に計上している。
・令和8年6月に一時金として支払われる福祉・介護職員等処遇改善加算等支給額の未執行分（令和7年10月から令和8年3月まで）を賞与引当金に計上している。

◇徴収不能引当金
・なし

(3)消費税等の会計処理
・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2．重要な会計方針の変更
該当なし

3．採用する退職給付制度
◇法人独自の退職給付制度
・社会福祉施設職員等退職手当共済法の適用を受けることが出来ない職員に対して支給される額で、年度末における同共済法の定める所により算出し、交付される額に準じて算出した額による

◇京都社会福祉事業企業年金基金の実施する確定給付企業年金制度

◇独立行政法人福祉医療機構の実施する退職給付制度

4．拠点が作成する計算書類とサービス区分
当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。
（1）京都市大原野の杜 拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

（2）拠点区分事業活動明細書（別紙3㋑）
ア　生活介護事業
イ　施設入所支援事業
ウ　短期入所事業
エ　日中一時支援事業
オ　特定相談支援事業

（3）拠点区分資金収支明細書（別紙3㋒）は省略している。

5．基本財産の増減の内容及び金額
該当なし

6．基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
固定資産（ホシザキ製冷庫庫）の処分に伴い、国庫補助金等特別積立金1円を取り崩した。

7．担保に供している資産

該当なし

8．有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

（単位：円）

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	19,288,865	6,800,854	12,488,011
構築物	8,391,300	1,397,529	6,993,771
機械及び装置	6,100,884	1,347,453	4,753,431
車両運搬具	11,552,337	11,552,332	5
器具及び備品	49,352,927	34,132,788	15,220,139
有形リース資産	200,687	88,963	112,724
合計	95,184,000	55,824,919	39,359,081

9．債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
（貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。）
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし			
合計			

10．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

11．重要な後発事象
該当なし

12．その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし